

4 持続可能な安全で快適なまちづくり

地震発生時の建築物の倒壊等を防ぐため、引き続き新耐震構造基準以前の民間建築物の耐震診断や耐震改修を促進します。防災行政無線の基地局を市役所本庁舎に、屋外拡声子局を避難所等に設置し、災害時の緊急伝達手段を整備します。

「地域防災計画」等の全面的な見直しを行い、防災マップの全市版を更新し、引き続き地域と協働して津波浸水予想区域での「地域防災マップ」の作成に取り組みます。

消防職員を増員し、平成21年度以降の指揮隊設置に向け準備を進めるとともに、鳴尾消防署等の耐震診断を行うなど、危機管理体制の整備を進めます。

中核市移行による高度救助隊の設置にともない、震災現場における活動中の2次災害を防ぐ地盤警報器や、毒劇物や危険物等の判定を行う危険物同定装置などの高度救助用資機材を導入し、緊急時の対応力を強化します。

消防車両は、水槽付消防ポンプ自動車等の更新を行い、高度救命処置用資機材やドクターカー資機材を更新します。消防通信設備については、無線機の更新を行います。

緑化事業は、年次的に行っている「サクラの名所」再生事業を拡充し、西宮浜、鳴尾浜、塩瀬中央公園等に新たに桜の植栽を行うとともに、本市のオリジナルな桜などの苗木を配付して民有地の緑化を推進する「緑のコミュニティづくり」事業や、エコツアーによる桜の植樹を行います。また、用海線の街路樹等の補植などを行うとともに、保護樹木および景観樹林保護地区等

の樹木の巡回調査を行います。公園緑地は、引き続き武庫川河川敷緑地の一里山町地先から田近野町地先に至る区域において、園路等の整備を行います。サッカーを中心とした多目的グラウンドは、新年度上期には工事を完了し、供用を開始します。

景観については、景観誘導のシンボルでもある都市景観形成建築物の新たな指定を行うほか、地域のすぐれた都市景観を保全するための景観形成地区指定などの地域活動への支援を行います。また、市民参加型の「まちなみ発見クラブ」の活動やパネル展などを通じて、都市景観の形成に努めます。

公共の場所における受動喫煙や危害、迷惑等を防止するため、今議会に改正を提案している「快適な市民生活の確保に関する条例」により喫煙禁止区域を設けるなど、喫煙にかかわるマナーの向上を図り、市民と一体となって清潔で美しい「西宮」の創造に努めます。

甲子園浜海浜公園における迷惑行為等を防止するため、警備員による巡回を行います。県が実施する洗刈高潮ポンプ場整備に合わせ、西宮旧港内とその周辺の公園等の整備に向け、調査を行います。

環境への負荷が少ない循環型社会への転換を図るため、現在策定中の「ごみ減量推進計画」にもとづき、ごみの減量に努めます。

近年、マンション建設の増加にともない、既存の住環境との調整を強く求める紛争調整の申し出があり、これらに対応した実効性のある紛争調整制度を整

備します。市営住宅は、老朽化した住宅の建替事業に着手するとともに、外壁等の改修や車椅子住宅の整備、住宅用火災警報器の設置、団地内通路の拡幅整備等を行います。また、子育て世代の住環境を支援するため、子育て世帯の優先枠を拡大します。

震災復興事業の西宮北口駅北東地区土地区画整理事業は、換地処分を行い、事業完了をめざします。また、駅南の球場前線と北口線の円滑な交通処理のため、県阪急電鉄と連携し、阪急今津線の本格的な高架工事にも着手します。

西宮北口駅南地区まちづくり整備事業は、北口線の歩道整備を行うほか、駅北西部の公園の再整備を行うなど、駅周辺の活性化を図ります。阪神西宮駅南地区の整備完了に続いて、同駅北側の駅前広場整備事業に着手するため、都市計画決定の手続を進めます。国道176号は、引き続き国に積極的に協力して、整備促進に努めます。

引き続き幹線道路である西福河原線、市役所前線の整備を進め、中津浜線において修景化等の二次改築事業を継続するとともに、国道2号との交差点改良の設計を行い、公安委員会と協議します。

検討中の山手線については、整備を行うまでの安全性を確保するため、大池南の狭小幅員区間への歩道の設置に着手します。上ヶ原バス道の道路改良および名塩ガーデンの道路法面整備を完了させるとともに、新たに西宝橋の耐震補強、久出ヶ谷町道路改良、仁川沿い安全柵の整備等に着手します。

市内の道路冠水表示板等を更新し、JR甲子園口横断地下道の改良については、事業に必要な財源を確保できるよう国、県等と協議します。自転車駐車場は、阪神武庫川、JR西宮で新增設するとともに、阪急西宮北口で地下式自転車駐車場の導入について調査を行います。

南北バスは、「南北バス運行事業検討委員会」での検討結果を踏まえ、早期に本格運行できるよう努めます。その他の交通関係では、バス利用促進対策事業として、引き続き路線バスへのノンステップバス車両やICカードシステムを導入に対して助成を行います。コミュニティバスについては、アンケート調査の結果等を

ふまえ、引き続き導入の可能性を検討します。「東部総合処理センター」はその施設整備に着手し、「西部総合処理センター」は、基幹設備の更新を引き続き行います。北部地域の水路清掃事業を民間委託し、安定的かつ効率的な維持管理に努めます。

満池谷墓地は、無縁墳墓を整理するとともに、火葬場の設備改修を行い、白水映公園墓地は、墓所の整備を行います。「食肉センター」は、指定管理者制度を導入し、引き続き民営化をめざします。上水道事業は、「水道ビジョン」にもとづく浄水場の統廃合に向け、鳴尾浄水場等の整備に関する基本設計に着手するとともに、引き続き配水施設の耐震化を図るなど、安全な水を安定的かつ効率的に供給します。

下水道事業は、鷲林寺地区の汚水整備を完了させ、雨水貯留施設等を整備して浸水対策を進めるほか、甲子園浜浄化センターと枝川浄化センター間を連絡するネットワーク管路を整備するなど、高度処理や合流改善に必要な事業を推進します。また、処理場施設等の更新を進めて施設を適正に維持し、公営企業会計により効率的な事業運営に努めながら、水道局との統合についても、さらに研究します。

河川関係は、武庫川で現在実施されている河道整備工事の促進と、新たに河川整備計画を策定して治水安全度をさらに引き上げるよう県に要望するとともに、リバーサイド住宅地の残された移転補償が早期に解決するよう県に協力していきます。また、南部市街地の2級河川を増強するため、県が策定した河川整備計画を早期に事業化するよう要望します。

私は、本市の地域活性化の鍵は、その豊富な観光資源や既存の産業をいかに積極的に活用できるかにあると思っています。このため、新年度には、一般公募し、市民が選んだ市内の写真を選「市民が選ぶ西宮新100選」として市のホームページで提供し、「西宮」の魅力の再発見につなげます。

本市は、日本酒、和・洋菓子のほか、ほうれん草などの軟弱野菜の生産でも有名で、特にねぎは県下有数の生産量を誇っています。また、米、肉についても市内に大きな加工施設が立地しています。これらの産品を積極的にPRするため、例年開催しています「酒ぐらルネサンスと食フェア」にあわせ「西宮」の食産業PR事業として、講演会、販売会などを開催します。

中核市移行を記念して、本市の伝統産業である日本酒に記念のラベルを貼付し、和・洋菓子の商品にメッセージカードを添付するなど、まちと産業の一体的なPRを行います。産業、観光の振興のため、関西学院大学と連携し、いわゆる「ご当地検定の西宮版「西宮検定」を試行します。

依然として厳しい状況にある商店街を活性化するため、地域

昨年開設した地域ポータルサイト「西宮流(スタイル)」は、多くの方々にアクセスしていただいています。今後とも、このサイトを活用し、所期の目的である事業者と消費者との交流や製造業などの販路拡大、事業連携などを促進します。

都市型観光を推進するため、引き続き県と連携して、市内の観光スポットを巡るループバスの運行に向け、実証実験を行います。

ことにより、カードのさらなる普及を図り、図書館の図書貸出しや自動交付機による課税証明書の発行に活用します。本市の情報化の取り組みは、自治体の情報化進捗度を示すランキングでも上位を占め、また、

「被災者支援システム」について、総務省が全国の自治体に普及を図るなど、高い評価を得ています。新年度は、本市の有する地理情報システムを活用して、行政のもつ各種情報と連携の共有化を推進します。

中核市移行にともない、公認会計士による包括外部監査を導入します。



高度救助隊の設置や職員の増員など、暮らしを守る「消防」を強化します

5 産業が栄え地域がにぎわうまちづくり

私は、本市の地域活性化の鍵は、その豊富な観光資源や既存の産業をいかに積極的に活用できるかにあると思っています。このため、新年度には、一般公募し、市民が選んだ市内の写真を選「市民が選ぶ西宮新100選」として市のホームページで提供し、「西宮」の魅力の再発見につなげます。

本市は、日本酒、和・洋菓子のほか、ほうれん草などの軟弱野菜の生産でも有名で、特にねぎは県下有数の生産量を誇っています。また、米、肉についても市内に大きな加工施設が立地しています。これらの産品を積極的にPRするため、例年開催しています「酒ぐらルネサンスと食フェア」にあわせ「西宮」の食産業PR事業として、講演会、販売会などを開催します。

中核市移行を記念して、本市の伝統産業である日本酒に記念のラベルを貼付し、和・洋菓子の商品にメッセージカードを添付するなど、まちと産業の一体的なPRを行います。産業、観光の振興のため、関西学院大学と連携し、いわゆる「ご当地検定の西宮版「西宮検定」を試行します。

依然として厳しい状況にある商店街を活性化するため、地域

昨年開設した地域ポータルサイト「西宮流(スタイル)」は、多くの方々にアクセスしていただいています。今後とも、このサイトを活用し、所期の目的である事業者と消費者との交流や製造業などの販路拡大、事業連携などを促進します。

都市型観光を推進するため、引き続き県と連携して、市内の観光スポットを巡るループバスの運行に向け、実証実験を行います。

ことにより、カードのさらなる普及を図り、図書館の図書貸出しや自動交付機による課税証明書の発行に活用します。本市の情報化の取り組みは、自治体の情報化進捗度を示すランキングでも上位を占め、また、

「被災者支援システム」について、総務省が全国の自治体に普及を図るなど、高い評価を得ています。新年度は、本市の有する地理情報システムを活用して、行政のもつ各種情報と連携の共有化を推進します。



証明書自動交付機を増設します

6 公共サービスの充実したまちづくり

次期総合計画は、素案を広く市民に周知するとともに、パブリックコメントを経て、審議会による議論を行い、秋には原案を取りまとめ、12月市議会に提案します。

「(仮称)山口地区センター」は、建設工事と並行し、平成21

年4月のオープンに向け、準備を進めます。市の公用・公共施設を今後とも効果的、効率的に活用するため「中長期修繕計画」にもとづき、保育所等の防水改修などを行います。

納税の利便性と徴収の効率化を図るため、コンビニエンスストアにおける軽自動車税の収納を開始するとともに、公的年金からの住民税の特別徴収に向け、システムの構築に着手します。

市民の利便性の向上を図るため、証明書自動交付機を市内主要駅周辺に設置し、時間外や休日の運用を進めます。また、住民基本台帳カード等の発行手数料を期間を限定して無料化する



西宮の秋の風物詩「酒ぐらルネサンス」

野菜の生産でも有名で、特にねぎは県下有数の生産量を誇っています。また、米、肉についても市内に大きな加工施設が立地しています。これらの産品を積極的にPRするため、例年開催しています「酒ぐらルネサンスと食フェア」にあわせ「西宮」の食産業PR事業として、講演会、販売会などを開催します。

中核市移行を記念して、本市の伝統産業である日本酒に記念のラベルを貼付し、和・洋菓子の商品にメッセージカードを添付するなど、まちと産業の一体的なPRを行います。産業、観光の振興のため、関西学院大学と連携し、いわゆる「ご当地検定の西宮版「西宮検定」を試行します。

依然として厳しい状況にある商店街を活性化するため、地域

昨年開設した地域ポータルサイト「西宮流(スタイル)」は、多くの方々にアクセスしていただいています。今後とも、このサイトを活用し、所期の目的である事業者と消費者との交流や製造業などの販路拡大、事業連携などを促進します。

都市型観光を推進するため、引き続き県と連携して、市内の観光スポットを巡るループバスの運行に向け、実証実験を行います。

ことにより、カードのさらなる普及を図り、図書館の図書貸出しや自動交付機による課税証明書の発行に活用します。本市の情報化の取り組みは、自治体の情報化進捗度を示すランキングでも上位を占め、また、

「被災者支援システム」について、総務省が全国の自治体に普及を図るなど、高い評価を得ています。新年度は、本市の有する地理情報システムを活用して、行政のもつ各種情報と連携の共有化を推進します。

中核市移行にともない、公認会計士による包括外部監査を導入します。